

大東市立歴史民俗資料館

学芸員の雑記帳

特別展記念講演会、そして閉幕

年の瀬に向かい、日に日に寒くなってきましたね。
そんななか、あっという間に特別展「神社探訪・絵馬案内」は終了しました。

多くの方に来場いただき、「ガラスを通して見るのと違い、すごく迫力を感じた」「またこのような機会を設けてください」といったありがたいご意見を頂戴することができました。

最終日には、絵馬研究の第一人者である岩井宏實先生に「絵馬の歴史と民俗」というタイトルでご講演いただきました。



含蓄のある面白いお話で、なかでも興味深かったのは、曲物(まげもの)の材を使った絵馬があるというお話でした。曲物は薄い板をまげてつくったもので、一例をあげると、ひしゃくがあります。薄い板を曲げるため、内側にナナメの線を沢山いれるのだそうで、絵馬にもそのナナメの線があるものが見られるというお話でした。曲物の材を利用した絵馬を奉納した人は、いったいどんな人だったのでしょうか？

楽しい講演会も終わり、いよいよ絵馬の返却です。
皆さま、よいお年を。